

2015年に始動した個展「言葉と音楽」は作曲家石垣絢子の楽曲による「言葉」に焦点を当てた演奏会です。今回は2020年春に全曲初演予定だった札幌の女声合唱団コクテール委嘱作品「母に」を全曲“試演”するほか、脚本・演出・音楽全てを石垣が手掛けたミニオペラの初演を行います。さらに東京公演の模様をオンライン配信します。美しい日本語と生きた音楽によって広がる世界をどうぞお楽しみ下さい。



石垣 絢子（作曲・ピアノ） Ayako Ishigaki

札幌市出身。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田喜直賞の部優秀賞。新人音楽会にて札幌市民芸術祭大賞受賞（作曲部門初）。コール・クク委嘱作品、蔵原伸二郎「狐」の詩による合唱曲集が札幌コンサートホールKitaraで初演された。実相寺昭雄メモリアル・コンサートでは作曲・編曲・ピアノを担当。写真家やイラストレーターとのコラボ作品をYoutubeで公開中。



金持 亜実（ソプラノ） Ami Kanaji

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、同大学院音楽研究科修士課程および博士後期課程修了。博士号を取得。歌曲や宗教曲、アンサンブルの演奏を得意とし、宗教曲のソリストとして数々のオーケストラと共演しているほか、harmonia ensembleやバツハ・コレギウム・ジャパン等に参加し研鑽を積んでいる。現在、東京藝術大学教育研究助手、慶應義塾女子高等学校講師。



渡邊 智美（メゾソプラノ） Satomi Watanabe

千葉県出身。東京藝術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。モーツァルトウム音大夏期国際アカデミーマスタークラス、ディプロマ取得。ドイツ歌曲や日本歌曲のコンサート、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』ケルビーノ役等のオペラに出演。演劇では市原佐都子/Q『バックスの信女〜ホルスタインの雌』に出演。石垣絢子個展「言葉と音楽」では新曲初演に多数参加、東京・北海道で公演を重ねている。日本声楽家協会会員、啓声会会員。

ご来場の皆様へお願い

- ・37.5度以上の発熱がある場合はご入場いただけません。
- ・手指の消毒とマスクの着用をお願いします。（2021年4月1日現在）

東京公演

石垣絢子個展シリーズ「言葉と音楽」vol.V

オンライン配信期間：6月26日～7月2日

視聴チケット イープラスeplus.jp：2,000円

- 曲目 ～朗読とピアノの為に～小熊秀雄童話「焼かれた魚」＜初演＞ 他
- 出演 石垣 絢子 金持 亜実 渡邊 智美



＜特別出演＞ 寺田 農（俳優）

1942年東京都生まれ。舞台、映画、テレビドラマなど多数出演。故実相寺昭雄監督と共にクラシック音楽の舞台で語り手を務める。元東海大学文芸創作学科教授。現在、板橋区立美術館運営協議会会長。